



日蓮宗
正中山別院 護国山妙法華院
〒652-0816 神戸市兵庫区永沢町 4-5-8
TEL (078) 575-2608 FAX (078) 577-7651
kobe@myohokkein.jp

人は善根をなせば必ずさかう

〔上野殿御返事〕



そんなバナナ…
2014年10月24日(金)

ちょっとした衝撃だった。孫はおばあちゃんの名前を知らない!? フトしたことから、友人が「おばあちゃんの名前が判らない」と言った。割と頻りに会っているのにも関わらずである。「ええーっそんなバナナ!」と、私は驚きを隠せなかったが、女房は「意外と多いかもよ」とのたまう。そう言えば…と、ウチの三男坊にも恐る恐る聞いてみると、やはり間違った。この様子だと、長男も次男も答えられないだろう。親しくてよく会っているが名前を呼ぶことは確かに無い。おそらく祖母と離れて暮らす核家族化が原因なのだと思う。特に祖母は意外と落とし穴なのかもしれない。一緒に住んでいれば、表札や手紙を目にする機会もあり、いくらなんでも間違えないだろう。タラちゃんは「フネ」と言い切るハズだ。皆さんも子供に確かめてみてはどうでしょう。



当山の池でも蓮と水蓮の栽培にチャレンジです

明けておめでとうございます。この寺報も今回で12号目となりました。お寺は改修工事を終え再出発した事もあり、また新年を迎えましたので、心機一転。寺報もリニューアルして、A版仕立てに変更する事にしました。先代の「ろおたす」の時代よりずっと寺報はB版で通してきましたが、時代の流れはA版が主流です。私の代になって、カラー版の寺報に変えた時から、いずれA版に変更する事を念頭に置いて製作してきました。ちょうど前回で「LOTUS ROOT」から「れんこん」へのタイトルロゴ変更プロジェクト任務も終了しましたし、良い節目となりましたので、今回より誌面を大きくします。高齢者の方から、「読みたけれども字が小さい」という苦言も寄せられていましたので、その点は大きく解消されます。

今までと誌面内容を大きく変更するつもりはありませんが、時代の流れを先取りし、面白くて斬新な、他に類を見ない寺報づくりにチャレンジしていくつもりです。

「れんこん」…なにかふざけているようにも取られかねない、ユーモラスなイメージのある野菜ですが、蓮の根っこです。泥の中にあるれんこんは、その汚れた水から栄養を補充し、茎を大空に向かって伸ばし、可憐な美しい花を咲かせる力を蓄えています。それは煩惱や欲望にまみれた世間という泥

の中にも居ながらも、それに染まらずに妙法に生きる力を持っているという事なのです。

またれんこんの穴は、先が見通せるという事で、お目出度い席や新年のおせち料理にもよく使われます。私たち一人一人は、みんな姿形は違っていても仏さまの子、お題目という縁で結ばれています。その結びつきは、れんこんのように、切れかかっているようでも実は、キッチリと繋がっている…。それもお題目の香風がかよいあう通りを残して、手を携えています。

当山は、新しく出来ました伽藍を拠点として、檀信徒・未信徒を問わず多くの方々に利用して頂き、皆さんと繋がっていききたいと思っています。そうして皆さんと共に、お題目の信心を確立し蓮の根っこを太らせて、大きな蓮の華を咲かせてみたいと思うのです。お釈迦さまの教えは、生きている私たちの為にあります。

挙手をお願いします

師僧の時代から當山の寺報は、檀家さんのみならず、親戚・知人を始め本宗教師やマスコミ等に機会があることに配布したり、送付してきました。私もその意向を受け継いで、恥ずかしながらこの寺報を檀家さん以外の有縁の方に、お送りさせて頂いています。しかしいつも私が懸念しているのは、数あるダイレクトメールと同じで、興味ある人にも無い方へもこちらから送りつけている形になります。「迷惑をかけているのでは無いか」といつもそれが気がかりでした。「楽しみにしています」とか「読んでます」とお声がけを頂いた方は良いのですが、迷惑な方も大勢いらっしゃると思います。

今後は、何かしら一言でも声をかけて下さった方のみにお送りしようと思っています。また寺報は、當山のホームページでも公開していますので、そちらで見るとも可能ですし、お寺にはいつでも帰って頂けるよう常備しています。特に管内の御寺院などお近くの方は、當山に立ち寄った際にもご自由にお持ち帰り下さい。今後、檀家さん以外の方は、希望者に絞ってお送りさせて頂こうと思いますので、遠慮無くお申し出ください。

尚、今回は年賀状を兼ねていますので、有縁の方全てにお送り致します。

お寺は、檀家さんの喪中を一番判っています。この寺報は年賀号ですが、皆様への必要なお知らせも入っていますので、全ての方にお送りさせていただきました。喪中のハガキを頂きました方にも失礼を承知でお送り致します。

ふぜんせんけんぼう
不染世間法
によれんげざいすい
如蓮華在水

住職 新聞 智孝

《クイズ》この写真の不自然さに気づいた人はお寺まで(笑)。(ヒント)ハトはいますが、スズメはいません。

小春日和に恵まれましたが、やはり一年ぶりの水行の水は、思ったよりも冷たかったです。しかし心臓麻痺で倒れることも無く、最後まで無事に法要をお勤めする事が出来ました。

さて前日まで、本当に落慶法要が厳修できるのか、ハラハラドキドキの毎日でした。しかし業者の方々に頑張ってもらい、突貫工事でナントカ形になるところまで持つて行くことが出来ました。

11月23日の記念法要当日は、仏祖三宝のお陰を持つて素晴らしい好天氣に恵まれました。そんな貴重な連休の日曜日に、遊びにも行かず、家でゆっくりもせず、また神戸マラソンも走らずに、当山の記念法要にご参列・お参り頂いた方は、本当に有り難うございました。

日修代最初で最後の大イベント

「仕事もナントカ間に合うさ。」

師僧が今の本堂を建てられた時も多くのの方がその斬新さにビックリされましたが、今回の増築もガラス張りのカーテンウォールになって、やはり皆さん驚かれた事と思います。私は、師僧が建てられたこのお堂をさらに活かすべく、梁を落として三宝尊を後ろの席からでも拝めるように改修し、内陣を切り詰めて靴を脱がなくても焼香が出来るようにしました。壁を抜き窓を作ることによって明るさを確保し、ご宝前に向かって左側を広げ、左右対称にしました。中庭を見えるようにしたので、和の安らぎを少しでも感じて頂けたらと思います。

道場・会議室・事務所・トイレも改装しました。1階は全て車を停めやすい駐車場として、歩道を切り下



始	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	終	別															
開式の辞	昇堂太鼓	唱歌題	水神開眼	水行披露	唱歌題	灑水散華	導師式衆入堂	道場偈	開經偈	誦経讃	咒鉢讚	鏡鉢樂	中樂	慶讀奉告文	誦経樂	焼香 (代表一人)	祖訓拝読	唱題	圓頓章	回向	四弘誓願	來賓祝辭	法華經寺・宗務所	挨拶	謝辞	奉送	閉式の辞	導師式衆退堂	特別記念法話

特別法話

妙國寺岡部日聰猊下御親修

岡部日聰殿下のお話は、御会式の由来に始まり、お題目の意味。そして即身成仏とは何か、という解説から入られました。「施す」という行為についても詳しく触れられ、何故 葬儀のお布施は高いのか？という素朴な皆さんの疑問に、答えて頂きました。無財の七施という誰にでも出来る行動として具体的な例をホワイトボードに書いて頂きながら、判りやすくお話し下さいました。人は善根をなせば栄えます。皆さん、新しいお寺で更なる布施の浄行（徳）を積んで下さい。

お祖師さまと
また会えるご命曰



開眼 2014年11月14日(金)

防犯カメラを設置しました。
色んな機能が搭載され、いつ
でも。死角が多い当山も
チリです。何時でもどこでも
れています
山に泥棒は
しかし私の
見られてい
り、自分の
るような…



A cartoon illustration of a burglar in a blue suit and mask running away from a white door. A security camera is mounted on the wall above the door, pointing towards the burglar. The burglar has a surprised or fleeing expression.



子口

行學道場 妙法華院

第五世妙久院日修代

法華經寺にも
是非お詣り
ください!!

足の悪い方はこちらから1F エレベーターへ

斬新なガラスとタイルのカーテンウォール

日本庭園風にシシはいないが鹿威し

看板や表示類も新しく製作

歩道を切り下げ入れやすくなった駐車場

永久刻銘は御本尊と同じ紺地金泥

今日より神仏のまわりには全て赤い毛氈を

れんこん
日記

山門は黒門で

2014年10月24日(金)

千葉の下総中山・法華経寺へ、落慶法要のご挨拶と山門デザインの打ち合わせに行ってきました。そこで設計士と二人で、本物の本阿弥光悦の扁額を見せて頂きました。間近で見ると、その「正中山」の文字に、二人とも圧倒されっぱなし。當山の建物に、その光悦の字を頂きます。どれだけの力がせられた形に表現できるか、結構なプレッシャーです。師僧の遺徳を思んだ形の山門にしたいと考えています。

夜のお寺は更にオシャレです♡

仏の御手を垂れ

井桁に橘は昔の玄関幕を再利用

今お寺は、ピッカピッカですよ。是非今年から法事や葬儀だけでなく、いろんな催し物や趣味の会などにも積極的にお寺を活用して下さい。和室や会議室などの時間貸し制度もあります。駐車場も兼ね備え、交通至便で超便利。



整備する一方で、エントランスを
設けて足の悪い方や車
椅子の方でも1階から
直接エレベー
タに乗れるようにしました。バザー
やもちつき、イベントにも使いやす
い広場と倉庫も整備を致しました。
残念ながら、当日は庫裡の中まで
仕上げる事が出来ませんでした。し
かし正月頃には、私ども家族も新築
部へ移転し、離れの解体とコイン
パーキングの整備をする予定です。
当日は、法華経寺の新井日湛親下
より開祖日龜上人の御曼荼羅を頂
き、清水教信所長さまからは、暖か
いご祝辞も賜りました。
妙國寺の岡部日聡親下に御親修頂
き、参加者一同皆、楽しんで記念法
話に耳を傾けました。法縁の御寺院
各聖にも物心両面からサポートして
もらい、本当に皆さまのおかげで、
素晴らしいお会式と落慶の開創一三
〇周年記念法要が営めました。
心より御礼申し上げます。これを
機にドンドンまたお寺にお参りに来
て下さい。また工事業者の方は、こ
れもせつかくの縁ですから、是非と
もこの機会に、日蓮宗に改宗されま
すよう私の方からお勧めさせて頂き
ます。(笑)
南無妙法蓮華經

ねんりん日記 本当にあつたちょっと怖い話
2014年11月28日(金)

今回の建築に引っかかる古い樫の木をやむなく切った。戦前からある木なので、師僧もあまり手入れをせずに、成長するがまま長い間ほったらかしにしていた。私は少しでも何か形に残そうと、建築屋に「製材してテーブルにして欲しい」と頼んでおいた。結局、まとまった材料としては取れないとの事で、ナラの木を天板に据えてテーブルの脚だけの利用となった。話を聞くと木の中に、無数の釘が入っていたと言う。ん〜ワラ人形か？ 私が子供の頃にイタズラしたんだっけか？ 良く思い出せない。どちらにしても地鎮の時に、修法をしておいて正解だった。また、今そのドングリから二世を育てている。大切にしなければ...と改めて痛感している。ちなみに建築屋は何も伝えず製材業者に依頼をしたようだが、「これ、もしかしてお寺か神社の木じゃないですか?!」と言い当てたらしい。



久しぶりに水行をしたのは良いのですが、うっかり眼鏡をかけたまま被りだしてしまい、途中から眼鏡がズレてかっこ悪い状態に。またその後、すぐに着替えて法要が始まり、眼鏡は汚れて曇ったまま。ハンカチも忘れてあちゃちゃ〜でした。

れんこん日記

2014年11月14日(金)

ファン感謝デー

日蓮宗新聞社から連絡が入り、私へファンレターが届いたと言う。3ヶ月に1度掲載させていだいてる法務ページの記事に対してだ。社からファクスを頂き読ませてもらった。読者の声として、誌面に載せる意向らしい。前には北海道の女性の方から、お電話を頂いた事もある。いづれにしても発表した文章に反応があるのは、嬉しいことですね。コラムニストとして飯が食えるようになるかな？

梨汁は出ません。フナバシ画設計士です

娘の誕生日がチューさんと同じ森田昌広現壇主さん

住 利息をナントカ下げて下さいよ〜

イヤイヤそれは「ダメダメ」

※詳しくは、お寺までお問い合わせください。

平成27年 寒修行日程			
1月15日(木)	元町コース	福原〜楠町〜元町〜相生町〜東川崎〜新開地	
1月17日(土)	兵庫コース	永沢町〜神明町〜兵庫駅〜大開通〜三川口町	
1月18日(日)	荒田コース	菊水町〜夢野町〜千鳥町〜平野町〜荒田町	
1月20日(火)	長田コース	長田町〜片山町〜名倉町〜房王寺〜下沢通	
1月22日(木)	中央区コース	春日野道〜熊内〜琴緒〜中山手〜山本通	
1月24日(土)	西代コース	山下町〜日吉町〜二葉町〜腕塚町〜御崎町	
1月25日(日)	西灘コース	王子公園〜上野通〜神ノ木町〜六甲道駅周辺	
1月28日(水)	須磨コース	高倉町〜須磨寺〜離宮〜月見山〜大手町〜板宿	
1月30日(金)	垂水コース	滝の茶屋〜大町〜高丸〜五色山〜舞子台	
1月31日(土)	芦屋コース	楠町〜東山町〜業平〜宮川〜深江北町	

森さん！イイ盛り上がりデス！

迷くん...ウーロン茶やないか！

ワシャ〜自転車やさかい

警備のおっちゃん 本日は任務終了！

本堂で宴会？ ホンド〜？

何のお構いも出来ませんが... 落慶法要と記念法話の後は4階寺方控え室に女房と二人で挨拶させて頂きました。お上の方には祝い膳を用意してゆつくりとして頂き、私どもはその席を失礼をしました。本堂では檀家さんと業者の方のみで、ささやかな小宴を同時進行。挨拶の苦手な設計士の画さんと建設会社「アクト」の社長が、急用で出席できなかったが、現場監督の森田クンに一言しゃべってもらい、その後、筆頭総代の枝澤實さまの乾杯の音頭で、宴は始まりました。

ビツフェ形式にして席も決めず、自由に食べて飲んでもらい、自由な飲み会になりました。御祝いのお酒も頂き、ありがとうございましたので、それも紹介して栓を開けさせていただきました。またある御寺院からは「身延山」というブランドの日本酒も頂きましたので、当日皆に飲んでいただきました。

本日を迎えるまで一番苦しい思いをしたであろう現場監督は来賓として胸に耀く赤いリボンをつけてもらいました。予想通り、一番はじめて最後まで飲んでいました。

結構。結構。

求む！明るく、やる気のあつての方

腹あつた

寒修行托鉢参加者募集要項

下記の予定表のように、今年も寒修行に伺います。「太鼓の音が近所迷惑だから止めて欲しい」と思っておられる方もいるかもしれません。寒修行の門付けは2〜3分で終わり、またすぐに次の自宅へ出発します。しかし最近寒修行を知らない方も多く、近所の方にも一声かけておいて頂いた方が良いでしょう。また太鼓の音を聞いて慌てて逃げた方も多いため、自分の日を把握してカレンダーに印を入れておくください。御布施も用意して玄関等に準備されていた方が焦らずに済みます。

★節分星祭り

2月3日(火) 午後1時〜

法要加持祈禱 豆まき 粗供養奉仕

未年生まれの男女男女大募集中デス。

當山の豆撒きには是非参加下さい。

※詳しくは、同封別紙参照

★運営会議

総代・護持会役員は出席下さい。

1月12日(祝)・2月7日(土)・3月8日(日)

時間は、いずれも午後2時〜

★護持会奉仕日

1月13日(火)・2月13日(金)・3月13日(金)

時間は、いずれも午前9時半〜

★信行会

1月12日 午前10時〜

最終講義 正午 修了式

特別講師 各寺常観師

予告記事

1月12日 午前10時〜

最終講義 正午 修了式

特別講師 各寺常観師

予告記事

1月12日 午前10時〜

最終講義 正午 修了式

特別講師 各寺常観師

予告記事

1月12日 午前10時〜

最終講義 正午 修了式

特別講師 各寺常観師

予告記事

1月12日 午前10時〜

最終講義 正午 修了式

特別講師 各寺常観師

予告記事

1月12日 午前10時〜

最終講義 正午 修了式

特別講師 各寺常観師

予告記事

1月12日 午前10時〜

最終講義 正午 修了式

特別講師 各寺常観師

予告記事

1月12日 午前10時〜

最終講義 正午 修了式

特別講師 各寺常観師

予告記事

1月12日 午前10時〜

最終講義 正午 修了式

特別講師 各寺常観師

予告記事

1月12日 午前10時〜

最終講義 正午 修了式

特別講師 各寺常観師

予告記事

1月12日 午前10時〜

最終講義 正午 修了式

特別講師 各寺常観師

予告記事

1月12日 午前10時〜

最終講義 正午 修了式

特別講師 各寺常観師

予告記事

1月12日 午前10時〜

最終講義 正午 修了式

特別講師 各寺常観師

建設志納金会計10〜11月

2014年10月1日〜11月30日

収 入 (円)	支 出 (円)
志 納 金	7,221,000
志納金寄付	(7,021,000)
本会計より	(200,000)
信行志納金	0
寿量C	0
題目C	1,000
石亀工芸	400,000
永代納骨塔冥加金	700,000
浜屋	2,811,600
自家増資金	1,500,000
受取利息	0
収入小計	9,422,000
支出小計	5,108,937
9月から繰越金	59,861,954
12月の繰越金	64,175,017
合 計	69,283,954

建設志納金

2014年10月1日〜11月30日

収 入 (円)	支 出 (円)
志 納 金	7,221,000
志納金寄付	(7,021,000)
本会計より	(200,000)
信行志納金	0
寿量C	0
題目C	1,000
石亀工芸	400,000
永代納骨塔冥加金	700,000
浜屋	2,811,600
自家増資金	1,500,000
受取利息	0
収入小計	9,422,000
支出小計	5,108,937
9月から繰越金	59,861,954
12月の繰越金	64,175,017
合 計	69,283,954

建設志納金

2014年10月1日〜11月30日

収 入 (円)	支 出 (円)
志 納 金	7,221,000
志納金寄付	(7,021,000)
本会計より	(200,000)
信行志納金	0
寿量C	0
題目C	1,000
石亀工芸	400,000
永代納骨塔冥加金	700,000
浜屋	2,811,600
自家増資金	1,500,000
受取利息	0
収入小計	9,422,000
支出小計	5,108,937
9月から繰越金	59,861,954
12月の繰越金	64,175,017
合 計	69,283,954

建設志納金

2014年10月1日〜11月30日

収 入 (円)	支 出 (円)
志 納 金	7,221,000
志納金寄付	(7,021,000)
本会計より	(200,000)
信行志納金	0
寿量C	0
題目C	1,000
石亀工芸	400,000
永代納骨塔冥加金	700,000
浜屋	2,811,600
自家増資金	1,500,000
受取利息	0
収入小計	9,422,000
支出小計	5,108,937
9月から繰越金	59,861,954
12月の繰越金	64,175,017
合 計	69,283,954

建設志納金

2014年10月1日〜11月30日

収 入 (円)	支 出 (円)
志 納 金	7,221,000
志納金寄付	(7,021,000)
本会計より	(200,000)
信行志納金	0
寿量C	0
題目C	1,000
石亀工芸	400,000
永代納骨塔冥加金	700,000
浜屋	2,811,600
自家増資金	1,500,000
受取利息	0
収入小計	9,422,000
支出小計	5,108,937
9月から繰越金	59,861,954
12月の繰越金	64,175,017
合 計	69,283,954

建設志納金

2014年10月1日〜11月30日

収 入 (円)	支 出 (円)
志 納 金	7,221,000
志納金寄付	(7,021,000)
本会計より	(200,000)
信行志納金	0
寿量C	0
題目C	1,000
石亀工芸	400,000
永代納骨塔冥加金	700,000
浜屋	2,811,600
自家増資金	1,500,000
受取利息	0
収入小計	9,422,000
支出小計	5,108,937
9月から繰越金	59,861,954
12月の繰越金	64,175,017
合 計	69,283,954